

# つぼみだより

平成21年 11月号  
NO/8  
中高生の部

日に日に寒さが増してきており、街頭沿いのイチョウの木や 山々の木々が少しずつ赤や黄色の葉に変えていく季節となりましたね。常緑樹や落葉樹のコントラストが本当に美しく「ほっと」気持ちの中にゆとりができ自然の力に元気をもらっています。

季節を感じる心のゆとりはもっていたいものです。そしてちりゆく葉や落ち葉を楽しみながら冬の訪れを待つのもいいですね。

さて、このところの急激な気候の変化と、世界で騒がれているインフルエンザによってつぼみでも体調を崩しているお子様が目立ってきました。体調管理に十分気をつけていくと共に、予防策として部屋の換気・手洗い・消毒を習慣化して本格的なインフルエンザ到来に備えたいと思います。



## 今月のすがた

9月・10月と豊田合成、TGWウェルフェアの方々がつぼみの見学に来てくださいました。急な予定変更や利用のお願いにご協力頂きありがとうございました。さて子どもたちは・・・といういつものように「こんにちは！」と入ってくるものの、緊張しているスタッフの姿を感じたのでしょうか(笑) だんだんと顔が引き締まり緊張した表情になっていきました。「今日のつぼみは何か違う！」と感じた子どもたちの挨拶の声は自然とはきはきした大きな声になり、真剣な表情で取り組みました。流れ作業と販売を見て頂くためにおはぎの販売をしました。流れ作業の中で一人一つの役割を持ち取り組む姿・・・5月から続けてきた漬物販売で大切にしてきた姿です。大勢の方に見られている・・・私たちでもじっと見られた中でいつもと変わらない行動、例えば歩くだけでも手と足が一緒になったりとなんだか緊張してしまうことってありますよね？そんな良い緊張感に包まれながら、みんな決められた役割をきっちり行ない次へ流すことができました。子どもたち中に“はたらく”意識が芽生えてきたように思いました。その子ども達の気持ちはいつもより威勢の良い大きな声での「いらっしやいませ！」「ありがとうございました！」に表れ、きっと見学の方々にも伝わったと思います。



また10月よりTGWでの実習が始まりました。月曜日のミーティングやブログで話を知っている方もみえると思います。実際に実習でつぼみの職員がジョブコーチとして入り、感じた今のつぼみの中高生にとって必要なことをさっそく取り入れています。まずは掃除の強化です。今までを振り返り、秋からは一対一でスタッフが付いて台拭きの洗い方・絞り方・拭く時の姿勢や拭き方・ゴミがあった時や何かがこぼれていた時はどうするか？など細かなところまで見て指導をしています。台拭きと一言で言っても、縦拭き・横拭き・端を四角に拭いて中を拭くなど様々で、どう空間を分けると子どもにとって分かりやすく拭

き残しが無いかを日々考え試しながら取り組んでいます。漬け物作りやおやつ前にはスタッフではなく子どもが行ない、“確実に”できるようにしていきたいと考えています。台拭きから窓拭き、掃除機、トイレ掃除と一つずつステップアップして子どもたちの自信となる“確実な力”を身に付けていきたいと思えます。そして二つ目にADLです。実習に入ります驚いたことが立って着替えをすることでした。つぼみでも学生服からの着替えをしていますが、みんな座った状態で着替える。木下駄を履くために靴下の着脱も座ってする。まずは“立位の状態を着替えをする”ことを目標に5分間学習の時間に立って毎日の靴下の着脱に挑戦しました。みんな上手くバランスを保とうとしながら、また難しい時には机に手をつきながら履くようにしています。これから靴下や靴の着脱・バンダナのたたみなど日々の中でできるところから始めます。そして12月からは新しくADLの取り組みの曜日を設けました。将来の就労に向けてADLの確立を目指しています。全てに共通して必要なのは“身体バランス”・・・自分の身体の動かし方を経験と共に体得していきたいと考えています。何事も日々の積み重ね、繰り返し行うことで必ず力になると信じて取り組んでいきます。もちろん漬け物も冬特有の野菜を使い、子どもたちがアイデアを出しあってクオリティの高いものを目指していきます。

## 移動支援より

7月から始まったサポートセンターつぼみの移動支援事業、ようやく半年が経ちます。移動支援では大阪障害者スポーツセンター部長の中野先生と理学療法士の福尾先生、笠松ライディングスクールにご協力を頂き、子どもたちの身体バランスに目を向けてそれぞれの子どもの合った取り組みを行なっています。まだまだスタッフも勉強中ですが、これから子どもたちの姿や取り組み内容、教えて頂いた体操などを通信としてお便りしていこうと計画しています!!!



## Kのひとこと

さよなら大石先生。

Kの一言では、職員紹介をしてきました。今日は、悲しい報告を兼ねて紹介します。

若いのにどこか年寄り臭い大石先生。学生時代は東京で暮らしていたはずなのに、田舎臭い大石先生。入社面接では大きな目をキョロキョロさせて、意気込みを感じさせた大石先生。出掛けると子ども以上に自分が楽しんでしまう大石先生。通勤は自転車で30分なのにバスで1時間半。選んだのはバス通勤の大石先生。就職二日目にして、メガネが破壊された大石先生。子どもの人数点呼の時に自分も数に入れてしまう大石先生。自分の歓迎会に欠席してしまった大石先生。家庭の都合で、12月にアメリカに留学することになったのに11月30日まで、働きたいと最後まで気を抜かない大石先生。

今までのつぼみの職員にはない、特別な暖かさのある大石先生が、11月30日でお別れとなります。Kは悲しく、寂しく思う。いろんな人と出会い。そして、別れを経験してきたけど、Kの最近の夢は、大石先生の結婚式でのスピーチだった。かなりショックが大きい。でも、彼女と過ごせた子どもたちも、短い時間だったけど幸せだったと確信しています。「出会いと別れ」を多く経験してきましたが、悲しい、寂しいと言ってもらえる大石先生も幸せだと思います。

大石先生、門出です。笑顔で出発してください。